

これからあやめ公園の長寿命化の計画の中で考えていきたいということですので、ぜひそこも単独だとしても取り組んでいただきたいと思っております。そうすることによって、その200万円が300万円になるかもしれません。ここは温泉街ではありませんので、あそこに独立してあるわけですから、いかにそこにお客さんを誘導するかというのが入湯税の使い方の根本だと思っておりますので、そこをしっかりとこれから議論していただきたいと思っております。議論が遅いというふうには私には思いますが、これからご期待を申し上げるところでございます。

以上で質問終わります。

梅津善之議員の質問

○蒲生光男議長 次に、順位7番、議席番号2番、梅津善之議員。

(2番梅津善之議員登壇)

○2番 梅津善之議員 おはようございます。

雪がもさもさと降っておりますので、我妻議員に負けないような熱い議論になるように頑張りますので、よろしくお祈りいたします。

通告に従いまして、質問していきたいと思っております。

まずは、教育長、管理課長にお尋ねいたします。

1点目でございますが、今年の5月25日金曜日の夜でございます。平野小学校の体育館のバスケットのリングが天井より振り子のように落ちてきたということをお聞きしました。その日はスポーツ少年団の練習の終わりにリングを父兄の方が上げて終了したかしないかのときだったそうです。たまたま子供たちと父兄はいつも段の下でミーティングをするそうなんですけども、その日に限ってはユニフォームを配布して

おりまして、リングの下じゃなくてわきのほうにいたので特段けがはなかったということですが、学校の設備として天井から物が落ちてくるなんていうことが普通はあり得ないと私は思っております。いかに上に上げておいたものだとしても、リングが落ちてくるなどということはありません。

通常どのような方法で点検をなされているのか、また定期点検をどのように受けとめているのかということをご教育長、管理課長にお伺いしたいと思います。

また、市内6小学校、中学校二つあるわけですが、さまざまな体育施設の点検はどうなっているのか、またその結果、どのような対応をしているかをぜひお聞きしたいと思います。

この5月25日というのは、ちょうど平野小学校の120周年の記念事業をしておいた日でありまして、私もTASで懇親会の最中でありました。これはもっと学校設備に対して注意をしろという何か警鐘のように聞こえてまいります。ぜひその辺の点検の状況など教えていただければありがたいものかなと思います。

続いて、2点目でございます。小学校5、6年生に自分でつくる弁当の日をつくってはということでございます。これは11月の17日、山形県男女共同参画センター、山形県、長井市まちづくり青少年育成会議が主催した竹下和男先生の置賜リレー講座で提案がなったことでございます。私も妻と娘と3人で参加してまいりました。

まず冒頭、竹下先生からは、一人の女性が乳がんで、5歳の子供を持つ母親でございますが、余命5カ月と言われて、その子供に親として何ができるかということを考えさせられたと。そのお母さんは、この5歳の子供にみそ汁の作り方を教えて命を絶たれたということでございます。生きていく上で何が一番必要かということを考えさせられることではございました。

生きるということは食べるということ、食事をすることということをきちんと親が教えていかなければならないということを先生は言いたかったんだなあ、その話を聞いていて思いました。料理をして食べるということは、命をいただくことだ。そして、つくった人に感謝して、ありがたいと思うことを教えることだということも同じく申しておられました。私も涙が出てとまりませんでした。

自分がつくった弁当の日をぜひ長井市でも取り入れていただいて、命の大切さや人を思う感謝の気持ちを教育の現場で生かせるようなことを取り組みとしてしてはいただけないでしょうか。ぜひ教育長に考え方をお聞かせいただきたいと思います。

三つ目の質問でございます。道照寺平スキー場のナイター設備についてですが、市内の二つあるスキー場を一つにしたときの基本的な考え方をまず1点伺います。

現在も白山森スキー場にあった照明が設置されないまま保管されているということもございます。今定例会でも体育施設条例の改定の提案がなされております。私は、基本的に考えれば、体育施設条例を変えることではなく、ナイターがついていないスキー場のほうが問題ではないかと思っております。ぜひナイター設備を設置していただいて、ナイターのあるスキー場というのを基本に考えていただきたいなあと思っております。

以上、簡単ではございますが、壇上からの質問といたします。ありがとうございました。

(拍手)

○蒲生光男議長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 梅津善之議員のご質問にお答えしたいというふうに思います。

平野小学校において起きたバスケットボードの支え、上げ下げをする際の滑車の一部が破損して落下したという事故については、大きなけ

が等につながらなくて不幸中の幸いということで、驚きもしたし、点検の大事さを本当に痛感したところでございます。

各小中学校では、児童生徒が常に安全安心で快適な学校生活が送れるように安全点検計画や安全指導計画を作成し、各部署の責任者、具体的には教職員による定期点検を実施するなど、学習環境、保健衛生の保全、改善に努めているところでございます。授業前には器具や施設に異常がないか確認し、授業を行っております。支障箇所については管理課に報告をいただき、修繕や改修の対応を行っております。管理課においては、学校施設の保守点検、維持管理について定期点検が法的に義務づけられているもの、専門的かつ高度な技術、知識を要するもの、費用が多くなるもの等を中心に対応してございます。特に、最初に申し上げた主なものは、学校警備、エレベーター、電気、水道、プール、浄化槽、暖房機、ボイラー、危険物、消防設備などでございます。そのほかについては遊具、校地内の立ち木などのものがございます。

このたびご指摘がございました高所に取っつけてある設備の詳細の点検については、体育館の高いところにありますので高所足場を設置する必要もあり、日常の点検が難しいため行っておりませんでした。今後は定期的に業者による点検を行って再発を防止してまいりたいと、そんなふうに考えております。

二つ目のご質問、弁当の日をつくってはと、小学5、6年生にということでありました。この講演会については、私も議員と同席させていただいて聞いたところであります。非常に感動させられましたし、子供たちが自分の力で弁当をつくることによってたくさんのことを学べるのだなあという、そういうことも学ばせていただきました。

特に、味覚というのが発達するのは本当に10歳までというところで、それ以後は何か惰性の

ようになってしまうというようなことで、そういう大事なところを適時な時代に発達させることがいかに大事かというようなことも学ばせていただきましたし、弁当を自分の力でつくることが子供にとって非常にさまざまな力につながるのだなあということも学ばせていただきました。

日常の食事をつくってくれる人への感謝の気持ちもそうでありまして、何より自分でものをつくる、その達成感を味わうというのが非常に自尊感情、山形県の5教振の中で一番大事にしている、あるいは長井の心の中でも大事にしていることだと思えます、そういうことにもつながる。家庭教育の振興を促す学校側の投げかけとしては非常にいい手だてだなあ、そんなふうにも感じました。

この体験は、また脳科学の点からも先生はご指摘くださいました。人とかかわることとか、人間らしい人を思いやる心の脳をつかさどるのが前の部分、前頭葉というところで考えるんだそうですけども、ここを発達させることにもつながるといってご指摘でございました。今、そのことについて市を挙げて取り組み始めているのがアウトメディアチャレンジという取り組みです。生活リズムを改善すると。これは、ゲームとかメディアを視聴しているときは後ろの部分だけの脳が活性化して、前の脳はお休みしてしまう。つまり受け身のもの、受け身の考え方が中心になってしまっていて、前頭葉の発達にはつながらないというようなことでございました。弁当の日の取り組みは、こうした生活リズムの改善運動などにも非常に教育的な奥行きと展開の可能性を持ったものというふうに考えられますし、もう一つ、家庭教育の振興につながる切り口を与えてくれる取り組みかなというふうに考えております。

私も講演会の後に、何とかこういう運動を長井市の教育の中にも取り入れられないかなとい

うことで各小中学校ともお話し合いをさせていただきまして、前向きに受けとめてくださった校長先生も多数おられますので、来年度始められる学校もあるのかなというふうに期待しております。

学校では1年の中で給食をとめなければならない日がございます、参観日でありますとか、そういったところに組み合わせをして子供にチャレンジを促していけば、こういったものがスムーズに取り入れられるし、子供の力にもつながるのかなということでも期待してるところであります。

三つ目の道照寺平スキー場のナイター設備について申し上げます。

これまでの経過は、平成19年度長井市行財政改革推進計画2006～集中改革プラン～におきまして2カ所の市営スキー場を1本化するということが示されました。教育委員会ではこれを受けまして長井市営スキー場運営検討委員会を設置し、種々検討をいただき、平成22年8月定例教育委員会において市営スキー場は道照寺平スキー場への一本化を決定し、白山森スキー場は平成22年度の開設を最後に廃止といたしました。翌23年度、白山森スキー場の解体、撤去工事を行い、ヒュッテは解体、アンヴァーリフト1基、照明灯21灯は道照寺平スキー場で再利用するため撤去、保管をいたしております。

道照寺平スキー場の整備につきましては、平成21年度から平成23年度において、電源立地地域対策交付金事業等を活用し、約3,200万円をかけて整備が行われました。主な整備内容は、伐採によるゲレンデの拡幅と掘削、盛り土によるゲレンデの整備、白山森スキー場で使用していたアンヴァーリフト1基の移設、そして駐車場の舗装工事を実施しております。当初計画では、夜間照明設備7基の整備も計画されておりましたが、ゲレンデの安全性や有効利用という観点から、アンヴァーリフトの設置位置の変更

に伴い、樹木の伐採、ゲレンデの整地等が新たに生じ、また照明設備7基から13基設置整備が必要になったことで高圧受電設備、キュービクルの設置も新たに生じ、この整備事業の中での夜間照明設備の整備は予算的に実施できませんでした。

スキー場一本化の説明会では、白山森スキー場をしのぐいいスキー場を整備することを申し上げ、ご理解をいただいておりますので、夜間照明設備の整備につきましては、アンヴァーリフトの移設、新たなゲレンデ整備の要望にあわせて、今後の体育施設整備検討委員会の中で検討してまいりたいというふうに考えております。

○蒲生光男議長 鈴木一則管理課長。

○鈴木一則管理課長 梅津議員のご質問にお答えいたします。

定期点検の現状はどうなっているかということでございました。このたびの平野小学校体育館のバスケットゴールの破損の状況でございますが、巻き上げ途中45度ぐらいのところからつり金具の摩耗によって、滑車のちょうど軸になりますけども、そちらがやはり破断して、そちらから落下してぶら下がった状態になりました、床に落下したということではないんですが。ただ、その衝撃で上にあります支える部品の一部が落下したというふうな状況でございます。

当日は、社会体育の夜間開放でミニバスケットボール少年団が使用して、練習終了後の巻き上げ時に発生したということで、先ほど梅津議員からございましたように、子供たち、指導者の皆さんが周辺にいらっしゃらなかったのが大事には至らなかったというところでございます。

学校における点検の現状でございますけども、日常の点検につきましては、学校側の点検につきましては、先ほど教育長の回答で申し上げたとおり、使用前など、それから目視での確認ということでございますけども、このたびのバスケットゴールそのものが高所につり上がってる

状態ということがありますし、部品もいわゆる高いところにあるということで、目視での確認ということがそもそもなかなか難しいと、手薄になるという状況にありましたし、管理課においても定期的な通常の点検設備には入れておりませんでした。今までは壊れた際の、例えば機能が不全といいますか、動かなくなったとか、それから部品的に摩耗したというふうな、一部そういうふうな部分での点検といいますか、保守的な部分では行った経過はございますが、全体的な部分を定期的に行ったということはございませんでした。今回のように部品の破損が重量があるために大きな破損に至りましたので、定期の点検をすべきだったというふうに考えております。

他の学校につきましても同様に行っておりますので、早急に劣化等の点検を行うとともに、安全対策につきましては関係課と協議を進めてまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。以上でございます。

○蒲生光男議長 佐藤孝博生涯スポーツ課長。

○佐藤孝博生涯スポーツ課長 梅津議員の質問にお答えをいたします。

私からは、道照寺平スキー場のナイター設備について、早急に整備を検討しなければならないのについて答えを申し上げます。

ナイター照明設備の整備につきましては、早期の整備計画を検討いたしておりますが、平成24年度につきましては、駐車場等への土砂の流出、散乱を防ぐとともに、来場者の安全を確保するため、側溝及び集水ます設置工事及び圧雪車の寿命の延長と迅速な圧雪作業が行えるように、圧雪車格納庫設置工事を実施いたしております。

また、ことしの8月7日に道照寺平スキー場整備促進協議会役員会が開催されまして、私も出席をさせていただきました。その席上でもスポーツ少年団関係者の方からナイター照明設備

の早期整備の要望をいただいております。また、このたび整備いたしましたアンヴァーリフト3号機を移設して、その部分をゲレンデとして新たに滑れるようにしてほしいという要望も出されました。

新たにゲレンデとしたい斜面につきましては、中級、上級者のスキーヤーには大変魅力のあるゲレンデとなり、スキー場全体としても有効なゲレンデになると思われまますけれども、3号リフトの整備につきましては電源立地地域対策交付金を受けての事業であり、早期の再整備は交付金の返還が生じますので、整備したばかりのリフトを移設整備することはできないという状況であると思っております。また、仮にリフトの移設整備をする場合、ナイター照明設備の設置位置や照明灯の灯数にも違いが出てきますので、リフト移設とナイター照明設備の両方を整備するとなった場合、並行して整備を行うか、またはリフト移設整備を行ってから、その後ナイター照明設備を整備するということになると思っておりますので、そういった場合には、ナイター照明設備の整備時期は少し遅くなる可能性が出てくるというふうに思っております。

このようなことから、ゲレンデの整地、整備につきましては一旦終了いたしておりますけれども、リフト移設、ゲレンデ整地並びにナイター照明設備等、今後のスキー場整備につきましては、道照寺平スキー場促進協議会や長井市スキー連盟など関係者の皆様にご検討をいただき、ご意見をまとめていただいた整備内容を体育施設整備計画検討委員会で検討をしてみたいというふうに考えております。以上です。

○蒲生光男議長 2番、梅津善之議員。

○2番 梅津善之議員 どうも答弁ありがとうございます。

まず、第1点目の体育設備というか、学校設備全般にわたっての点検について課長にお伺いしたいんですけども、高いところだから、確認

さんにえから、もうちょっと今も点検してこねえなんつうこと自体が一つはまず問題だと思うんです。安全で当たり前の学校に、上から落ちてきて、まずけがしねがったからいがあったげんどうなんつうことではなくて、基本的には学校では子供たちが安全に授業なりを受けられることが常識だと思う。その中でたまたま夜落ちてきたから、けがしねがったからいがあったなんつうことではなくて、もうちょっとそういう教育施設全般にわたっての管理の考え方というのを徹底していただかないと、大事故につながったり、子供の命ですらも危うくなるようなことがあり得るんでねえかということの心配が親としてあつたりするので、ぜひその辺は厳重に管理を徹底していただきたいと思いますが、課長お願いします。

○蒲生光男議長 鈴木一則管理課長。

○鈴木一則管理課長 お答えいたします。

例えば、遊具などにつきましてはいろいろと事故がございますので、そちらのほうは毎年行っているということで、今回ありました件についてですけども、高所というふうな理由というふうにはならないかもしれませんが、そのようなことで行ってはいなかったということです。器具的にもいろいろメーカーさんの部分の取りつけ方などもございまして、さまざま一括して一体的な点検業者というのもないということもありまして、このようなことになってきたんだなあというふうに思います。ですので、今後は点検を行いまして、摩耗部品などの定期的な交換とか、そういうようなものを進めてまいりたいと思います。

○蒲生光男議長 2番、梅津善之議員。

○2番 梅津善之議員 じゃあ、今後そういうことで徹底して点検なりをして、事故のないように運営していただきたいなあと思います。

さて、落ちてきたリングなんですけども、撤去したということですが、本来あるべ

き姿であれば、もとどおりにして直すべきとこの辺は考えるんですけども、教育長この辺はどうでしょうかね。すぐにでも私は直して、取りつけていただきたいんですけども、考え方をお聞かせいただきたいんです。

○蒲生光男議長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 ご質問にお答えします。

今回破損したバスケットボードについては、平野小学校のメインコートのコートとして使用する、そういう設備でありました。学校の授業で使うものかどうかについてまず確認させていただきましたところ、授業では使っていないということで、社会体育の開放として使用があるということでした。

すぐに直してということでしたが、そうすると全額市費で直さなければならないということで、すぐに直した場合500万円ぐらいのお金がかかるということで、全額市費になった場合負担が大きいと。これから計画になる、平成26年度以降、小中学校の大規模改修がそれぞれ行われるということで、平野小学校の体育館もできるだけ26年度以降の中に繰り込んでいきます。その際にあわせて直さしていただければ国の補助もいただけるということで、そんなことで、緊急性のあることがほかにもたくさんございますので、今回はその部分についてはもう少し我慢していただくというようなことで対応させていただきたいと、そんなふうに考えております。

○蒲生光男議長 2番、梅津善之議員。

○2番 梅津善之議員 緊急性がないので、撤去してもう少し待ってくださいということなんだと思いますけども、現にスポ少でリングを使って練習しているんですね。それはサイドに若干低い目のリングがあることは私も認識しておりますが、壁にひっついたばかりのリングだと、バスケットしてる方はわかるんですけど、ランニングシュートとかできないんですよ、危

なくて、ぶつかっから。ジャンプシュートとかそういうのは外からできるんですけど、潜っていくようなランニングシュートの練習なんかはできないのが現実としてあって、不便を来してるのは事実だと思うので、26年度以降の大規模改修に合わせてなんていうことではなくて、早期に取りつけてもらえるようなことで検討いただくことはできないんですかね。

○蒲生光男議長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 検討してまいりたいと思います。ただ、今回の補正では上げておりませんので、この後、来年度当初でそんな無理がきくものかどうかちょっと私わかりませんので。なお、優先順位が高いものほかにもたくさんございますので、500万円をぽんと出せるほど、私は長井市大変なのかなというふうに思いますので、ずっと待ってくださいと言ってるわけじゃないので、少し待ってくださいと言ってるので、ご理解いただきたいものだなあと、そんなふうに思っております。

○蒲生光男議長 2番、梅津善之議員。

○2番 梅津善之議員 わかります。それは教育長としての考えでなくて、予算に配慮して大変だということの考えだと思いますけども、教育行政を預かる人のトップとして、子供たちなりスポ少で不便を来してるのに、ちょっと我慢してけるという考えが果たしてどうかなあと私は思います。精いっぱいの答弁だと思いますけども、ぜひ検討いただきたいと思います。

もう一つ、2番目の弁当の日の提案でございます。これは、教育長も一緒に講演を聞いていたのは私もわかっております。非常に辛い思いで私も講演を聞いておりました。実は、一昨年11月に私の妻の姉が同じ乳がんで亡くなっております。ちょうど6歳の子供がおります。姉はみそ汁をつくることを教えずに他界してしまっただけですけども、ちょうどその日の午前中、一周忌ということで法事をしてまいりまし

た。妻は、もう疲れてるのでお父さん一人で行って来てって言われたんだけど、ぜひ行きたいなあといって無理に連れて行って、いがったということで二人で泣いてきました、人のことでなく、全く自分のことのように思って会場で泣いてきたんですけども。

やっぱり漢字でも、算数でも、学校では教えてもらいたいなあという気持ちは私もあります。ただ、本当は家庭で教えなければならないことなんだかもしれないですけども、教育の現場として、ぜひ弁当をつくって持たせてあげる親の気持ちや、それを食べる人、それを子供につくって教育の中で生かしていくというのは非常に大切なことなんだなあということを私自身も思いましたし、子供たちだけでなく私たち大人も変わらなければいけないという認識しております。

この辺は教育長も十分ご理解してると思いますが、ぜひ長井市の教育の現場にも、一気にとは言いませんが、進めていただきたいと思えますし、命をいただくということをお子たちにわかっていただくことは勉強する以前の最も大切なことだと認識しておりますので、ぜひその辺も教育の現場で生かしてもらいたいなあと思えます。もう一度教育長、お願いします。

○蒲生光男議長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 弁当の日については、これだけにとどまらず、家庭教育とのかかわりの中で、今、学校教育が非常に課題を抱えているというのも事実であります。本来は家庭教育の中でしっかりとつけられるべきことが、なかなかそこが進んでいないというのがいろんな問題につながっているということだと思っております。そういったことについて、弁当の日の実践などを手がかりに、ぜひそれぞれのご家庭でいわゆる子育てがしっかりと行われるような、そういう手だての一つ、アイテムの一つとしてこの弁当の日の活用などを考えていきたいものだなあというふうに思っております。以上です。

○蒲生光男議長 2番、梅津善之議員。

○2番 梅津善之議員 ぜひお願いしたいものだと思います。

スキー場のナイター設備についてですけども、本来、市内のスキー場を一つに統合したという時点で、白山森以上のスキー場にしていくんだという考え方をお持ちだったようにお伺いしております。ナイターがないというと、何か本当にスキー場らしからぬスキー場になっているような気がします。せっかくすばらしいゲレンデを整備していただいた。多少問題もあって、もうちょっとリフトをずらしてとかという話も当然あると思うんですけども、やっぱりナイターをつけていただくことが今滑っている人、もちろんスポ少も含めて必要だなあと私は十分に認識しているつもりなんです。

それを整備検討委員会で検討するなんていうことでなくて、つけるんだけどもということがきちっとして考えにないと前に進まなくて、さっきもおっしゃられたと思いますが、ゲレンデを整備してナイターの灯数とかが減ってきたりふえたりするというのは十分わかるんですけども、つけるということをきちっと約束していただいている現状の中でつかない。今回も条例の改正案が出てるなんていうことで、待ちに待っている人に、残念だなあという、いつつくなやと聞かれると、私たちも答えようがないというのが非常に情けないなあと自分で思ってるんですよね。

何としてもつくような方向で検討いただきたいんですけども、この辺を教育長、いかがですかね。

○蒲生光男議長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 先ほど課長のほうからも申し上げましたけども、ナイター照明施設整備については早期整備の計画があります。それが24年度は順番が変わって、安全面を優先させて駐車場の散乱を防ぐための側溝とか、そういう整備

と、それから圧雪車の寿命の延長、それから格納庫、そういった工事のほうを優先させたということでございます。

ただ、計画を進めようとしていた中で、今度地元から一回整備したアンヴァーリフトの斜面を滑らせてほしいという願いが出てきたために、じゃあそれをするには交付金を受けている関係ですぐにはできないと、それと一緒になるということでは延びるといふ、そういうことになっているので、しないというふうに言っているのではないので、その辺を地元にも説明いただければありがたいと思います。

○蒲生光男議長 2番、梅津善之議員。

○2番 梅津善之議員 しないということではないけども、いつするなんていうことでもないということなので、それも非常にわかりにくいなあとは私思ってるんですけども。私も小学校の時代、道照寺平スキー場に毎日のように通った覚えがあります。当時は牧地というか、夏場は牧地で何にもないゲレンデだったんです。当然リフトも圧雪車もないので、踏んで上るしかないところを一生懸命踏んだ覚えがあります。整備されてよかったなあと去年のあたりゲレンデを見て、いいスキー場になったなあと思うんですよ。小さいころ何にもなくて、スキー場を圧雪車がわりに上って一生懸命やった思い出と非常にかぶって、今の子供たちにはせめて思いっきり滑らせてあげたいなあという気持ちもあって、当然それはナイターがあって安全にできるスキー場が当たり前だと私も思ってるので、早期につけていただくということをお願いしたいという、これはみんなの気持ちだと思うんですけども。

今回の市報にも、スポーツ少年団の父兄の方が書いたと思いますけども、「スポーツいち・に・さん」ということで、一番裏に、夜間は隣のスキー場に練習に行つて励んでますという言葉が書かれています。これは大人の都合で、

つかない照明のために、子供たち、当然親もそうなんですけども、ほかの町さ行って練習してこんなねえという事実をもうちょっと考えてもらいたいし、できるだけ早くつけて、いいゲレンデになったスキー場を有効に使えるように努力していただませんか。教育長、その辺は。

○蒲生光男議長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 照明をつけるだけだったらば、最初の計画どおりの中でつけられると思いますけど、計画が変わったときに再度そこにまた予算を使わなければならないとなると非常に見通しの甘いものになりますので、今回の議会で提案させていただいてる整備検討委員会の中で10年間の、スキー場だけではありませんので、先ほど来あります野球場とかさまざまなスポーツ施設ありますので、そういったバランスの中で考えさせていただきたいというふうに思っております。

○蒲生光男議長 2番、梅津善之議員。

○2番 梅津善之議員 いや、全体の中さ、スキー場の照明もゲレンデもということではなくて、ぜひ照明は別に考えていただいて、検討していただくようなことにはならないんですかね。教育長、その辺。

○蒲生光男議長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 やっぱりそういう物の考え方だとパイは、長井市の予算ってそんなにあるわけじゃないので、その中で物を考えていかないとだめなんでねえか。どれだけの効率的な部分で、何人の利用者がいるのかということなどもあわせて考えないと、私はこれからの時代は、前にこうだったからこうだということだけではものが進まないのかなあと、そんなふうに考えますけども、いかがでしょうか。

○蒲生光男議長 2番、梅津善之議員。

○2番 梅津善之議員 教育というのは、効率とか採算を考えるのが果たしてそれが適切かどうかということも当然あるんだかもしんにえけど

も、こうやって苦労してる、さっきのバスケットのリングもそうなんですけども、一生懸命やる機会を大人の都合で奪ってるということをやったり重く考えてほしいと思います。たった一人でもという言い方は大変失礼かもしれませんが、一生懸命やって、例えばインターハイに行くかもしれないし、国体やオリンピックまで出る選手がこの長井市から出るかもしんにあって、そういう期待も含めて、育てるという気持ちを含めて考えるということが大切だと思いますが、教育長、その辺はどうでしょうか。

○蒲生光男議長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 梅津議員おっしゃられるように、子供の可能性には非常に無限大のものがあると思います。その環境を整えてあげるとするのは非常に大事なことかとも思いますが、ただ、その一人のためにさまざまなことを、ほかに犠牲になる子も出てくるわけでありますので、バランスの中で物を考えなければならないということは必要な観点かなあというふうに思います。

ただ、先ほど来あった安全面に関しては、これはお金を惜しんではならないと思いますので、その部分については前向きにというよりも、具体的に進めなければならないというふうに考えております。

○蒲生光男議長 2番、梅津善之議員。

○2番 梅津善之議員 半分ぐらいしか納得できませんけども、ぜひスキーする少年団も、バスケットの少年団も一生懸命未来に向かって、スポーツを通してさまざまな思いを胸に抱いて頑張っている姿を大人として、行政として応援していくべきだと私は思っておりますし、ぜひ前向きに検討していただいて早期に実現していただくことをお願いして、私の質問終わりたいと思います。ありがとうございました。

○蒲生光男議長 以上で一般質問は全部終了いたしました。

散 会

○蒲生光男議長 本日はこれをもって散会いたします。

ご協力ありがとうございました。

午前11時45分 散会